

2014教育フォーラム in かすがい参加報告

11月15日(土)東部市民センターにて《2014教育フォーラム in かすがい》が行われ市P連役員3名が参加しました。

講師は心理カウンセラーの竹内成彦氏で、「子どもを育てる にとっておきのメッセージ」という演題でご講演いただきました。

なぜ、就学前の幼児期に集団生活が大切か、子どもたちが学校へ行く理由、学校がつまらないと感じる子の特徴を挙げた上で、子どもたちが楽しく学校へ行くことができるように私たち親や教師が子どもたち自身に身に着けさせたいことやしてあげたいことを話してくださいました。

なかでも親も友達も気づかなかった自身の変化を教師が気づき心配してくれてうれしかった話や、竹内氏の幼少期の不登園の話から学校不応児だった小1のころの担任の先生の対応、そして、長くかかったけれど適応していく糸口となった出来事の話。ファッションについてマイナスに考えるような言葉をあびせていた母と、全く反対な自信が持てるような言葉をかけてくれる奥様とのエピソードなど、明るくユーモラスに語られ、なるほどと感じる場面がありとても心に残る内容でした。

文責 藻谷美智代

「子どもを育てる にとっておきのメッセージ」～子どもの可能性を信じて～

子ども自身が忍耐力をつけると同時に自尊感情を高めることが大切である。そのために子どもたちにしてあげたいこと。

- ① 我慢させ、できたらたくさんほめること。(できた時に共に喜んであげて)
- ② 日ごろから子どもたちをよく見ること。(小さな変化に気づいてあげて)
- ③ 触ってあげること。(スキンシップを大切に)
- ④ 声をかけること、話を聞くこと。(話さなくても声をかけ続けて、そして話を始めたら聞いてあげて。子どもは聞いてくれる人には話をするし、聞いてくれる人が好きだから)
- ⑤ 人間関係を構築するスキルを身につけさせること。(仲の良いところをたくさんみせてあげて愛情が伝わるよ)